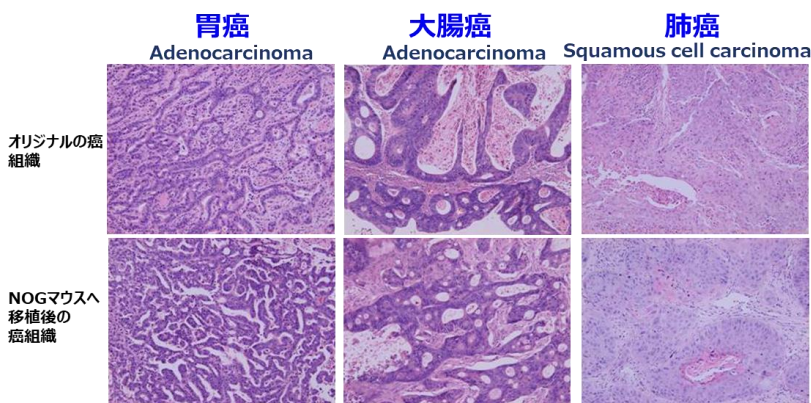


## ■ PDX 移植モデルとしての NOG マウスの有用性についてのご紹介

- ・（公財）実験動物中央研究所の伊藤 守らが作出した NOD.Cg-Prkdc<sup>scid</sup>//2rg<sup>tm1Sug</sup>/ShiJic マウス（以下 NOG マウス）は、重度の免疫不全を呈し、異種移植が可能なモデルとして汎用されています。
- ・がん細胞株はもちろん、多くの PDX 腫瘍の移植が可能な免疫不全マウスです。
- ・ヌードマウスや SCID マウスのような、従来の免疫不全マウスに PDX 腫瘍を移植すると、たとえ移植できたとしても、継代を重ねてしまいますと、従来備わっていた間質や細胞/組織が徐々に失われ、組織構造の再現性が低くなる傾向が観察されます。
- ・NOG マウスに移植した PDX 腫瘍では、継代を重ねても元の患者組織と同様の組織形態が、従来の免疫不全マウスよりもはるかに良好に維持されることがわかっており、抗腫瘍剤等の評価に有用であると考えられます。
- ・NOG マウスや、NOG マウスを遺伝子改変した次世代 NOG マウス、ヒト免疫細胞を再構築したヒト化 NOG マウスに PDX 腫瘍を移植したマウスモデルを使用した、抗腫瘍剤評価等のご研究を推進していただけますようお願い申し上げます。

<NOG マウスに移植した PDX 移植モデル例>

### NOGマウスを用いたPDX移植モデル



NOGマウスへ移植し、継代を繰り返した腫瘍の組織学的な形態、構造は、移植前の患者の腫瘍組織とほとんど変わらない。→ がん治療モデルとして有効

（出典：Etsuko Fujii et al., Pathol Int. 2008）

文献のページ：<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/18801070/>

- ・PDX 腫瘍移植モデルの作製や、次世代 NOG マウス/ヒト化マウスと組み合わせた実験方法等の情報提供や意見交換のミーティングが開催可能です。お気軽に弊社までご連絡いただけますようお願い申し上げます。連絡先：[sales@invivoscience.com](mailto:sales@invivoscience.com)

## ■ 本モデルについての問い合わせ先：

インビボサイエンス株式会社 営業部 田畑一樹

Tel:044-201-8518 email：[sales@invivoscience.com](mailto:sales@invivoscience.com)